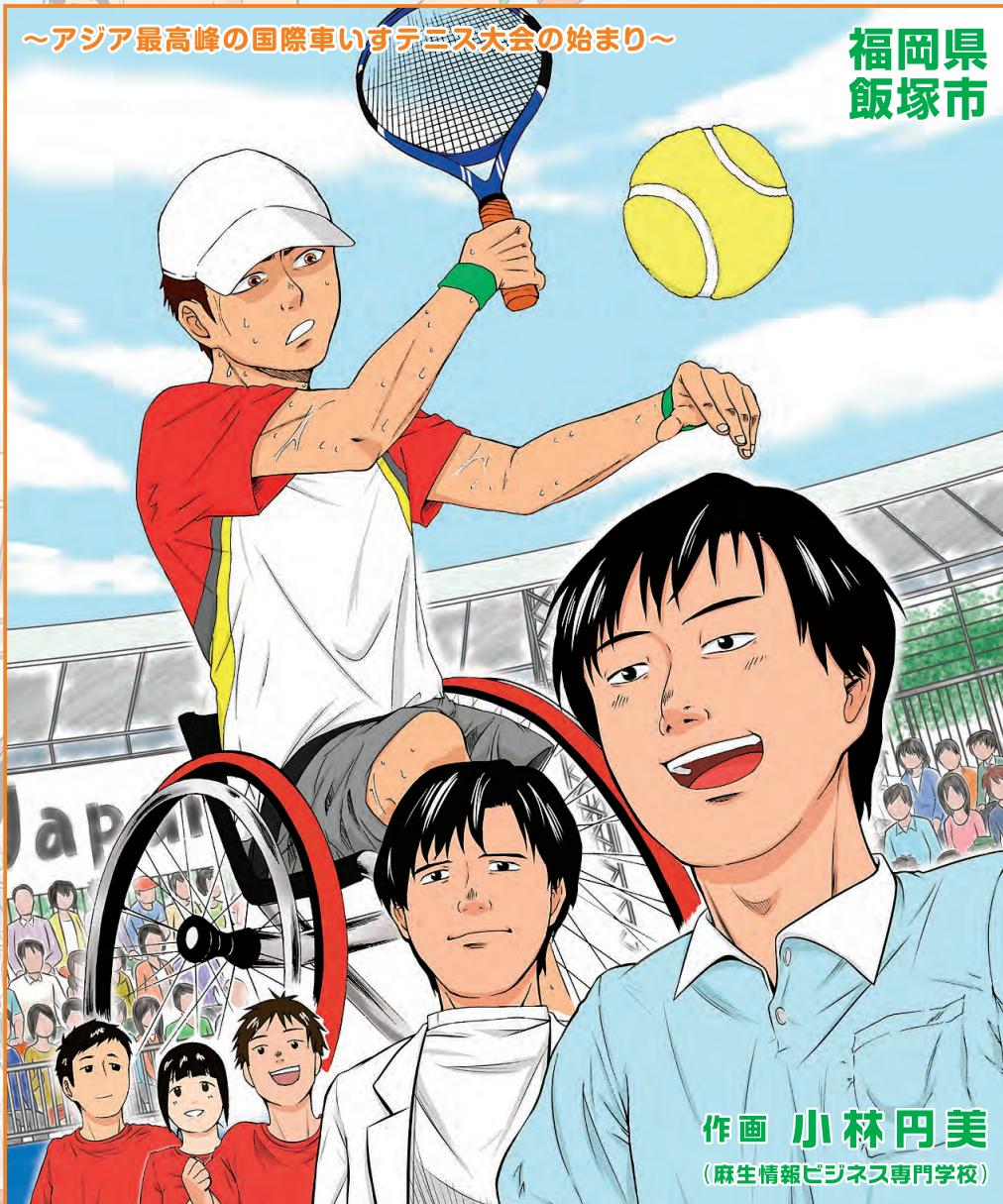


まんが スポーツで地域活性化 Vol.10

# Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会

～アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり～

福岡県  
飯塚市



作画 小林円美  
(麻生情報ビジネス専門学校)

企画・監修 スポーツ庁 寄贈 スズキ株式会社 日本生命保険相互会社

# Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会

～アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり～

福岡県飯塚市



作画 小林円美

(麻生情報ビジネス専門学校)

ほんさつし せいさくきょうりょく  
本冊子の制作協力にあたって

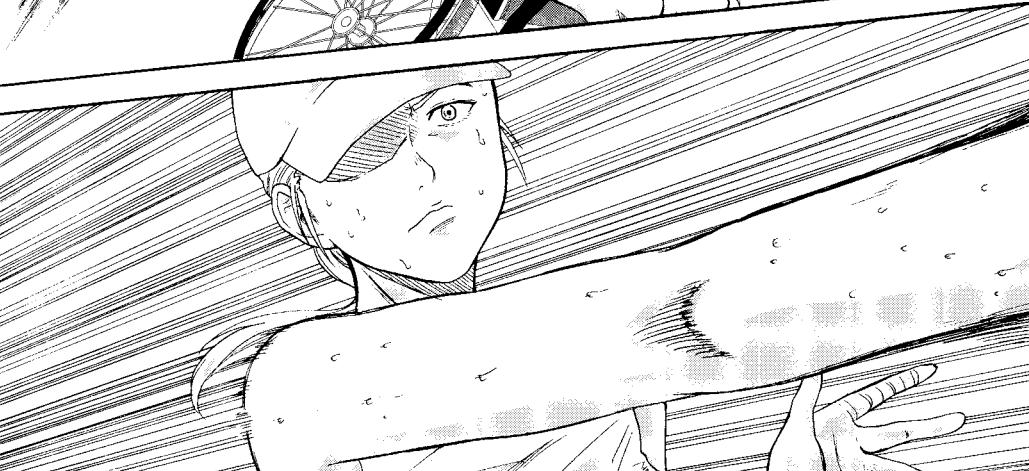
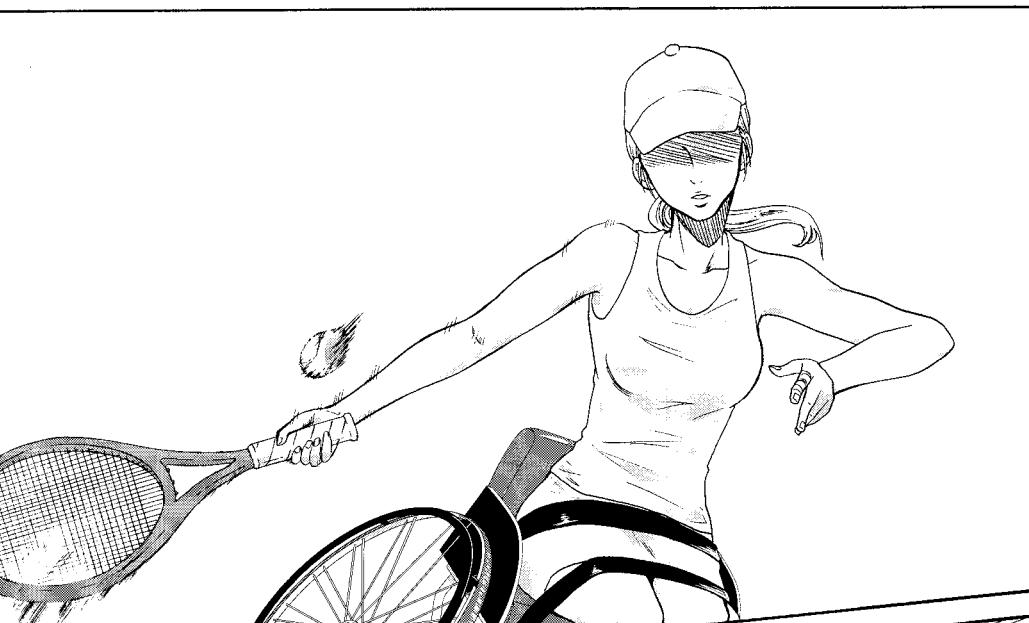
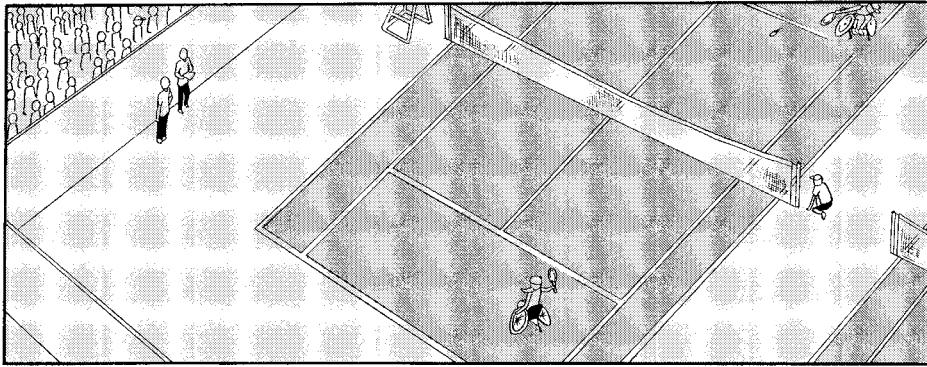
こんかい ちいきかっせいか じれいしゅう せい  
今回スズキは「スポーツによる地域活性化」まんが事例集の制  
さく きょうりょく 作りに協力させていただくことになりました。  
ちほうとしほんしゃおきぎょう ちいきかっせいか  
地方都市に本社を置く企業として、スポーツによる地域活性化  
すこやくたたいへんおもに少しでもお役に立てる大変うれしく思っております。

じ とくい けいじどうしゃ つか けいいちぞん  
スズキの得意とする「軽自動車」を使った「軽トラ市」をご存  
じですか？  
ちいきせいさんしゃしょうでんがいittai けいだい  
地域の生産者や商店街が一体となり、「軽トラック」1台1台  
みせかつきいちばとく けいをお店にし、「活気ある市場」をつくるというこの取り組み。「軽  
トラ市」には、この本で紹介される「スポーツ」と同じように、  
ちいきげんきうちから 地域に元気を生む力があります。

スズキはこれからも「軽トラ市」や「スポーツ」を通して地域  
おうえん ちいきかっせいかとく とお ちいき  
を応援していきますので、本冊子をお読みの皆さんも様々な活動  
つう ちいきかっせいかとく みなさまかつどう  
を通じて、地域活性化に取り組んでいただければ幸いです。



 SUZUKI



## とうじょうじんぶつしょうかい 登場人物紹介



ほし の おさむ  
**星野 治**

そうごう そん  
総合せき損センターのケースワーカー。  
くわま ふきゅう ほんそう  
車いすテニス普及のために奔走する。



つの だ のぶあき  
**角田信昭**

そうごう そん せいけい い か ぶちょう  
総合せき損センター整形外科部長。

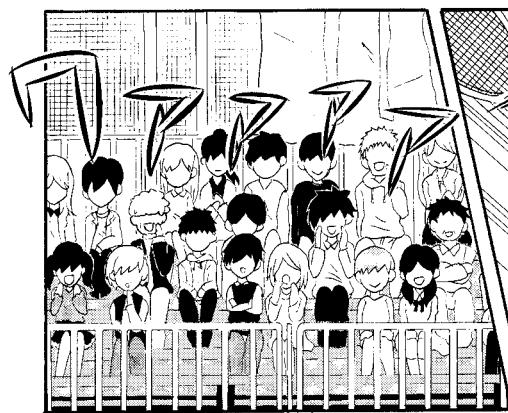
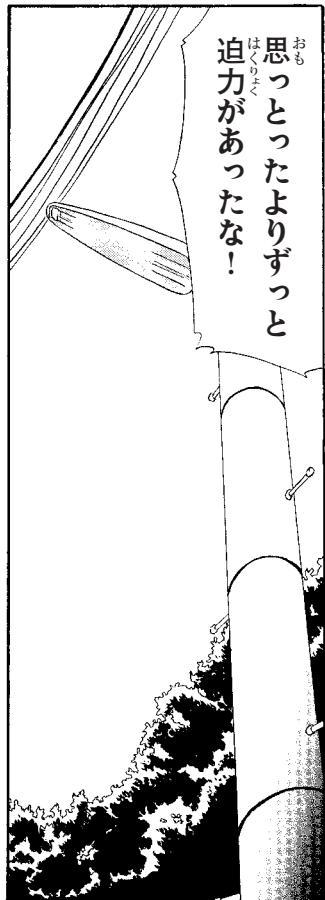
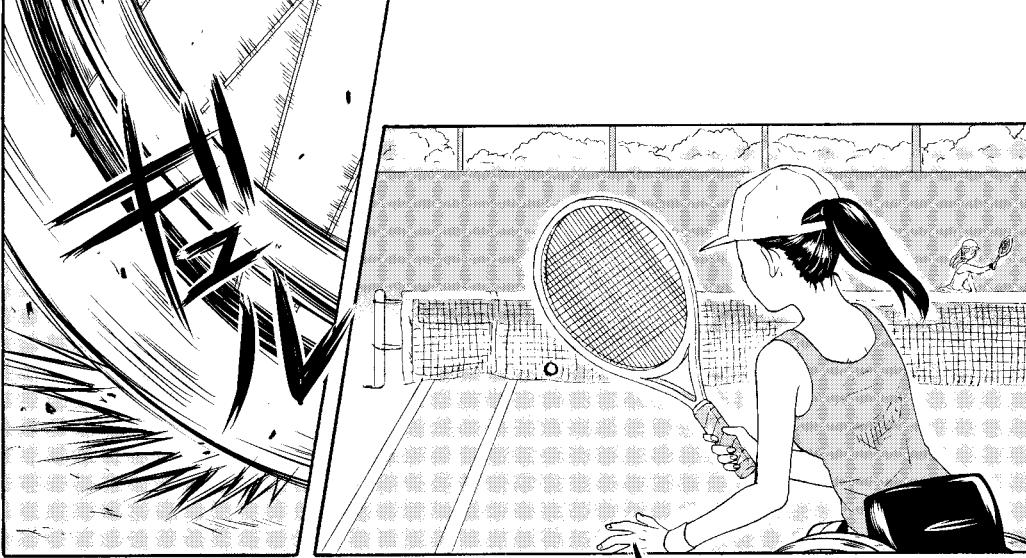


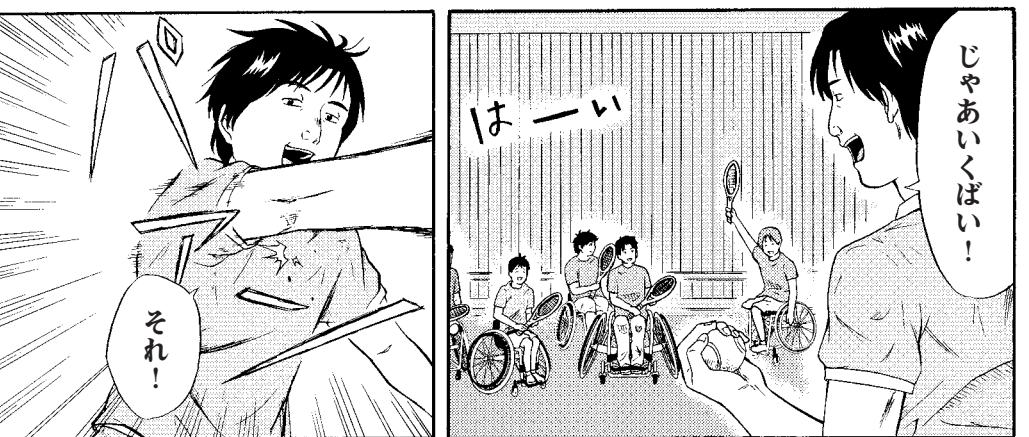
まえ だ きんぞう  
**前田公三**

いいづか せん む り じ  
飯塚ローンテニスクラブ専務理事。

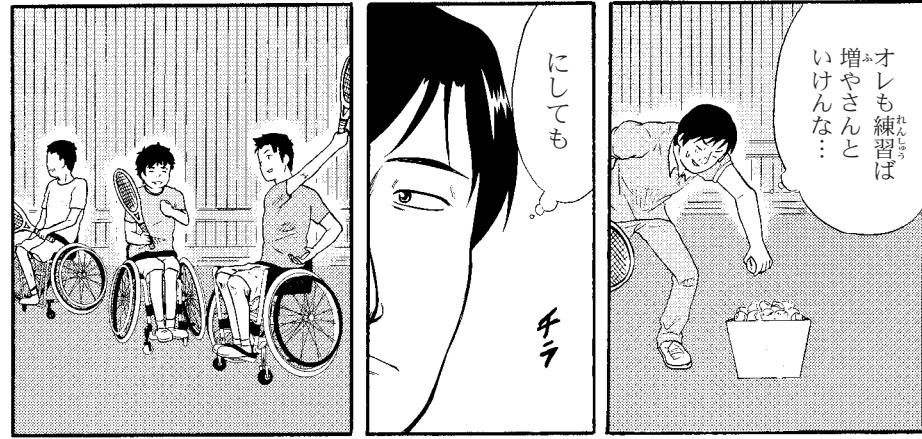
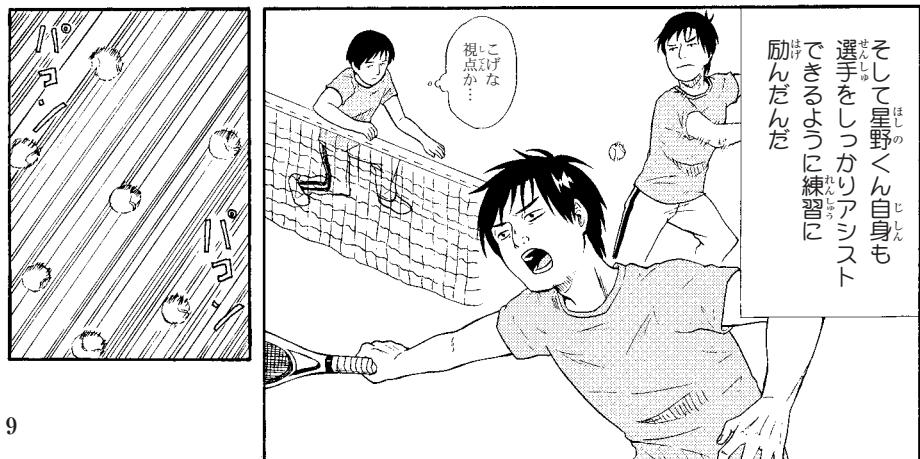
## もくじ 目次

まんが Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会	たいかい
～アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり～	1
もっと知ろう 飯塚国際車いすテニス大会	51
1. 飯塚市の概要	52
2. 飯塚国際車いすテニス大会の歩み	52
3. 飯塚国際車いすテニス大会のグレード	55
4. 飯塚国際車いすテニス大会のボランティア	56
5. スポーツ合宿の好適地・飯塚市	57
6. 角田先生からのメッセージ	58





※労働省(現厚生労働省)所管の特殊法人。現在は独立行政法人労働者健康安全機構となっている。

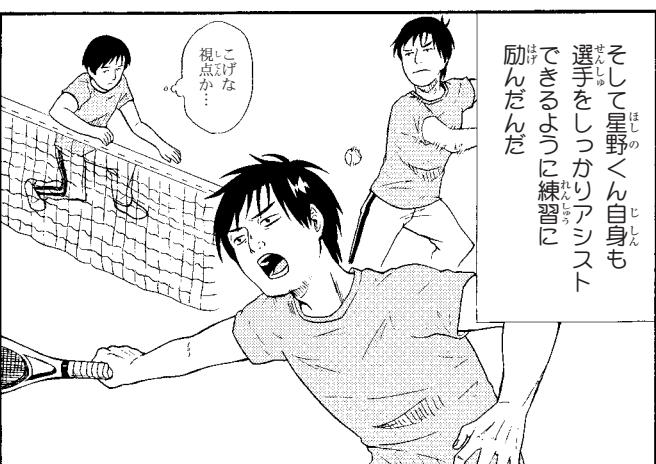
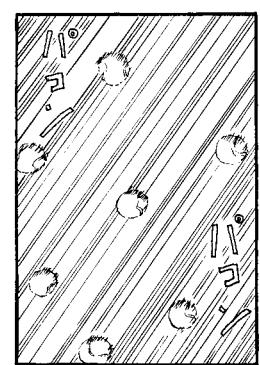


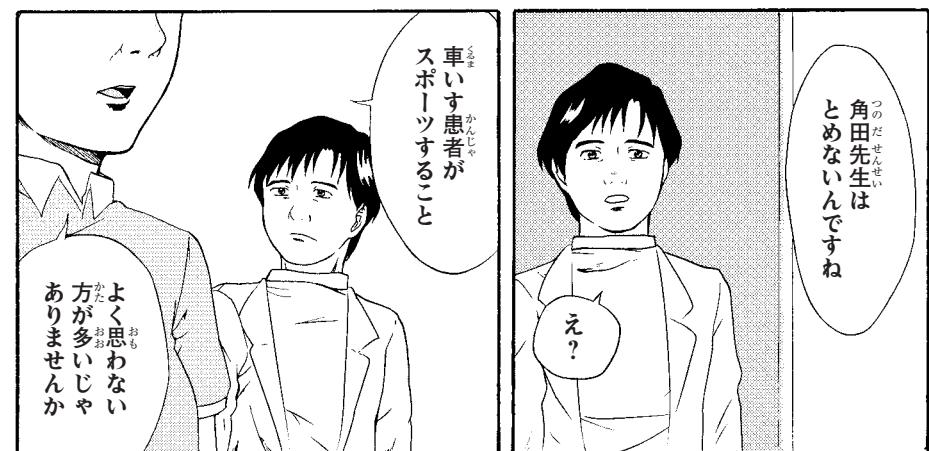
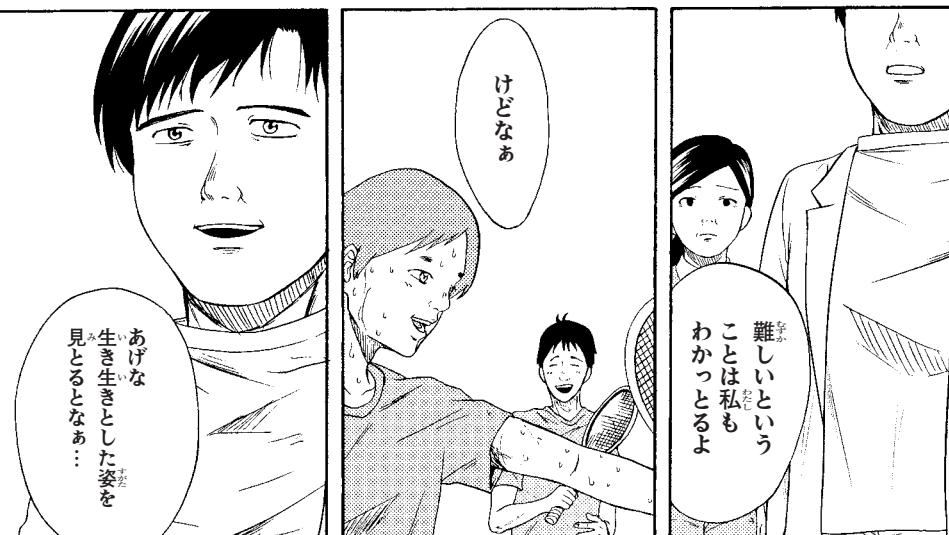
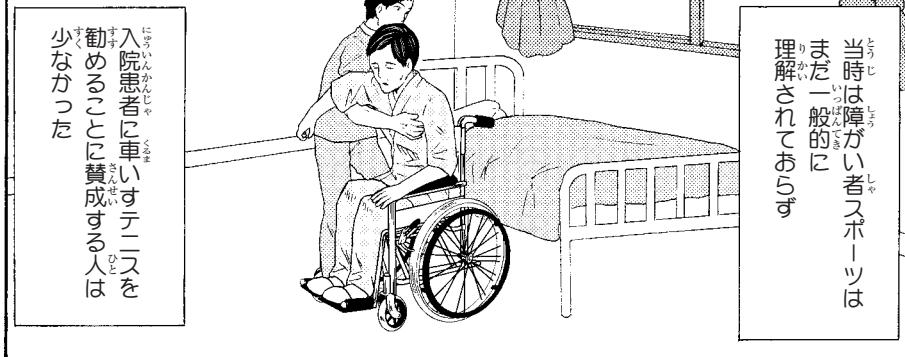
いいづか  
飯塚ロータリークラブ  
まえだ きんぞう  
前田公三

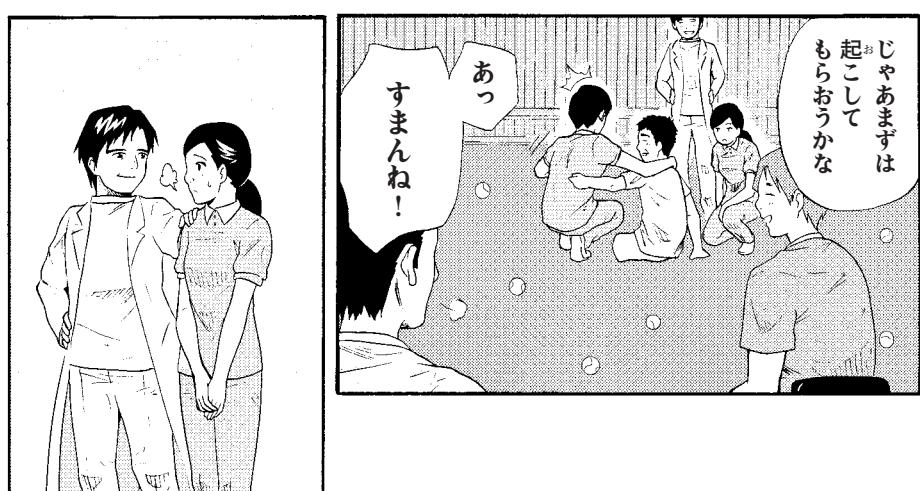
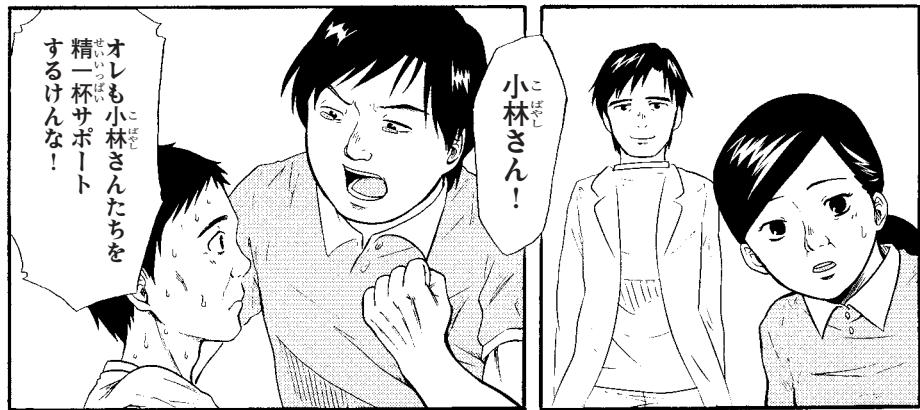


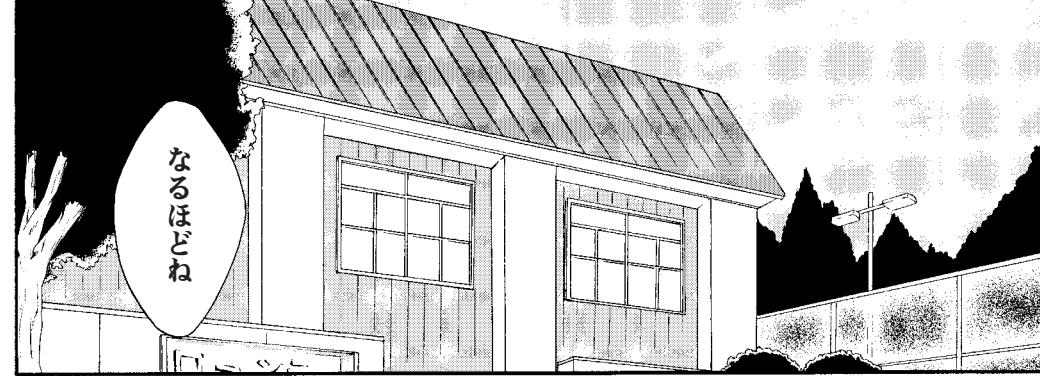
オレも練習は  
増やさんと  
いけんな…

そろそろ本格的に  
コートで試合ば  
やりたかあ…

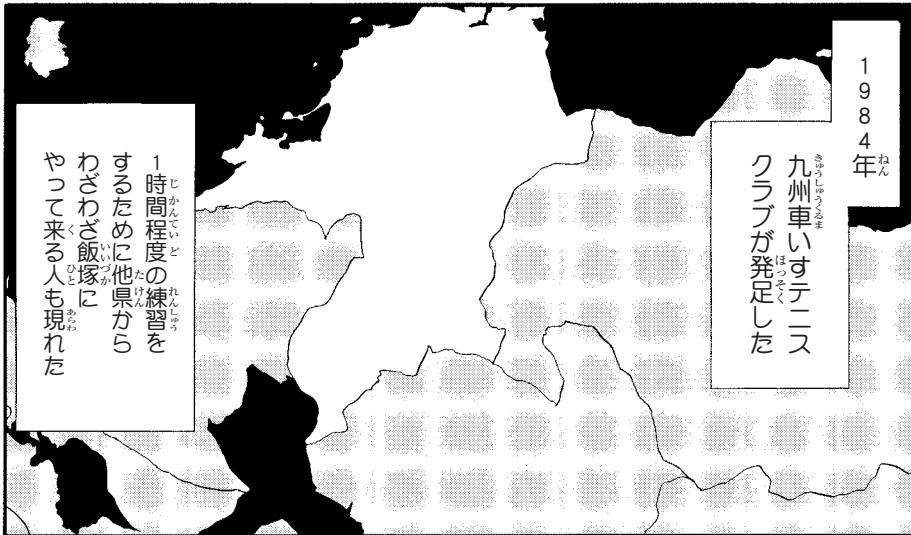






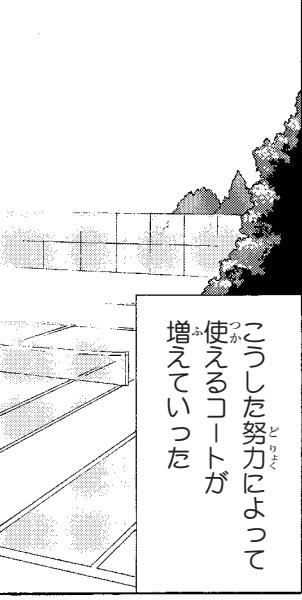
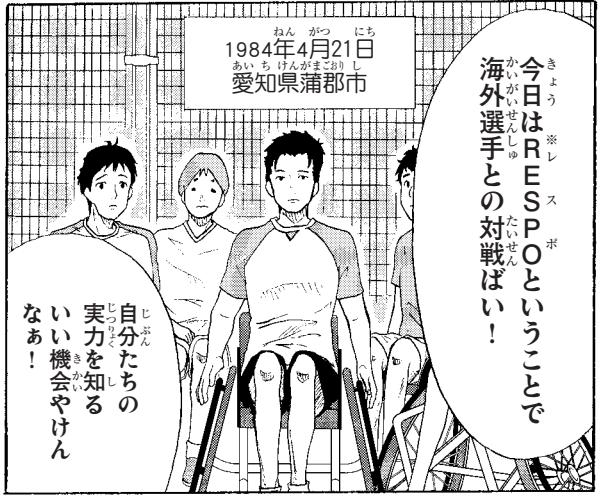


# たの 頼んますっ!!!

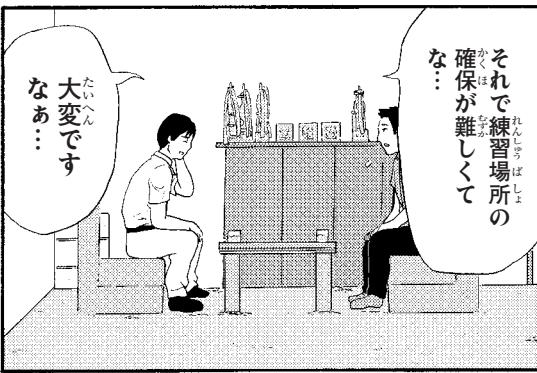
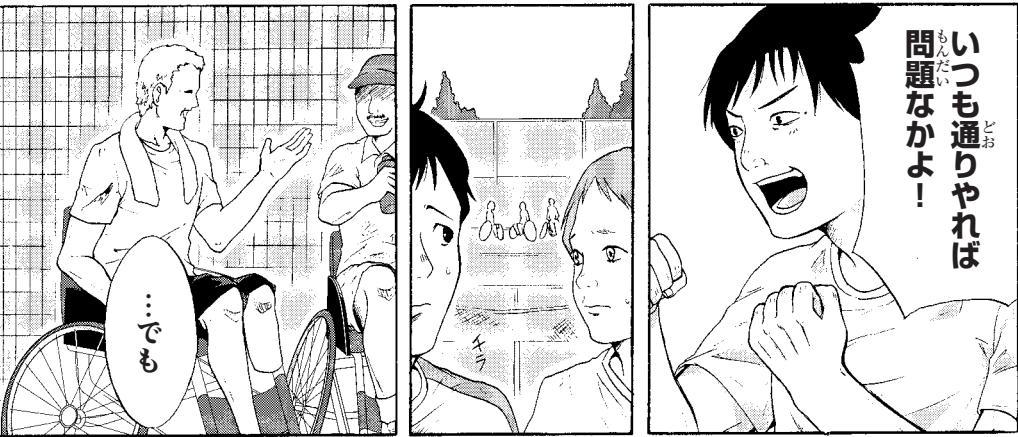


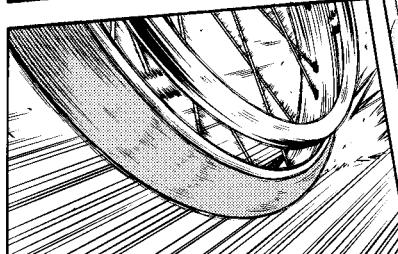
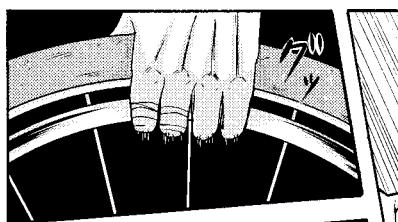
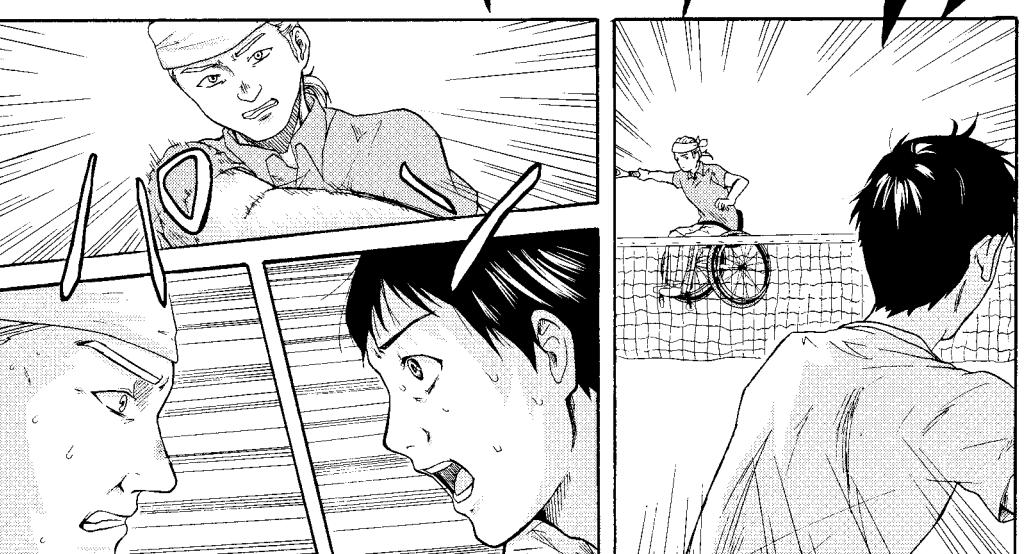
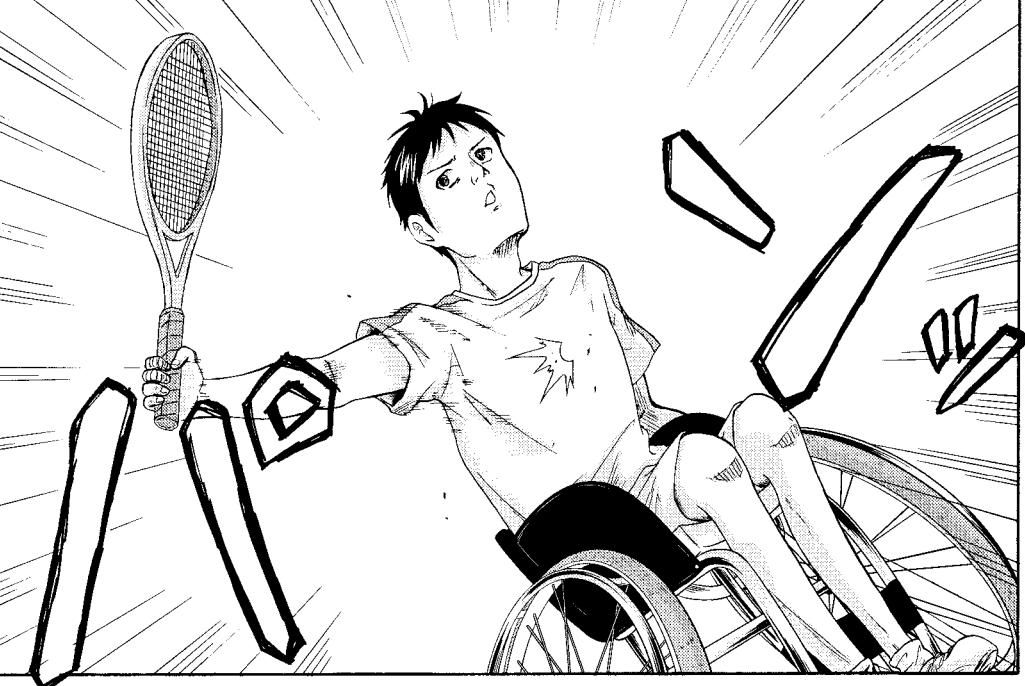
じ もと き よう しゃいん かめい  
※地元企業の社員(仮名)。

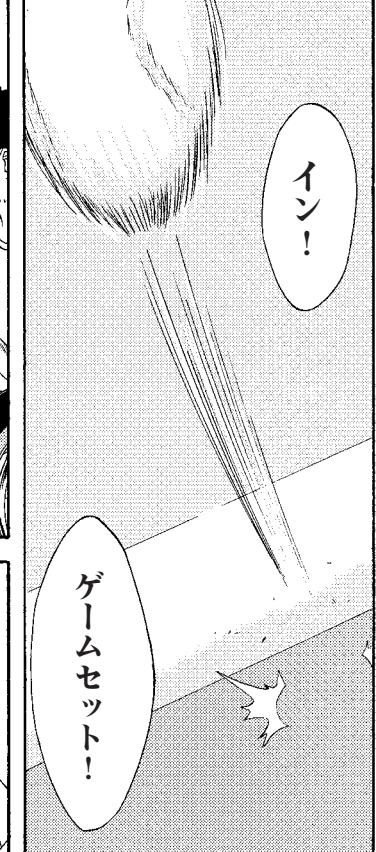
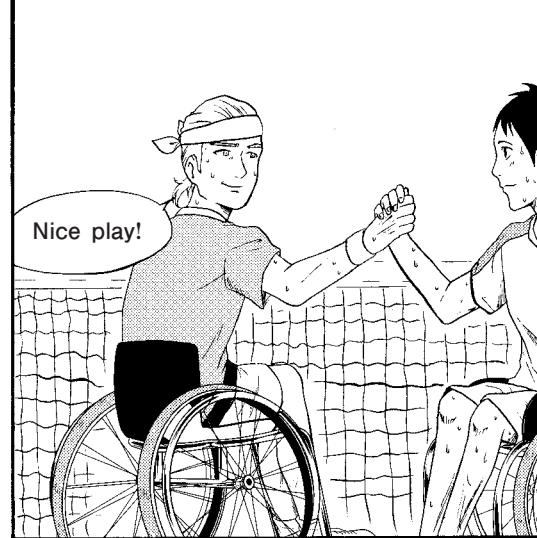


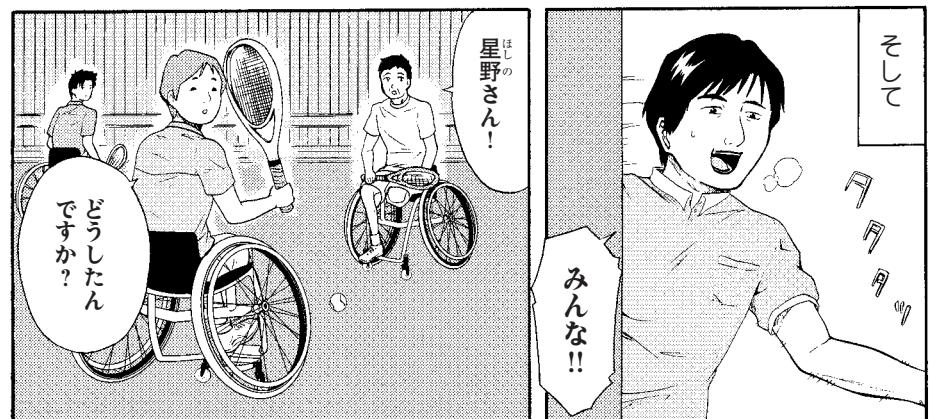
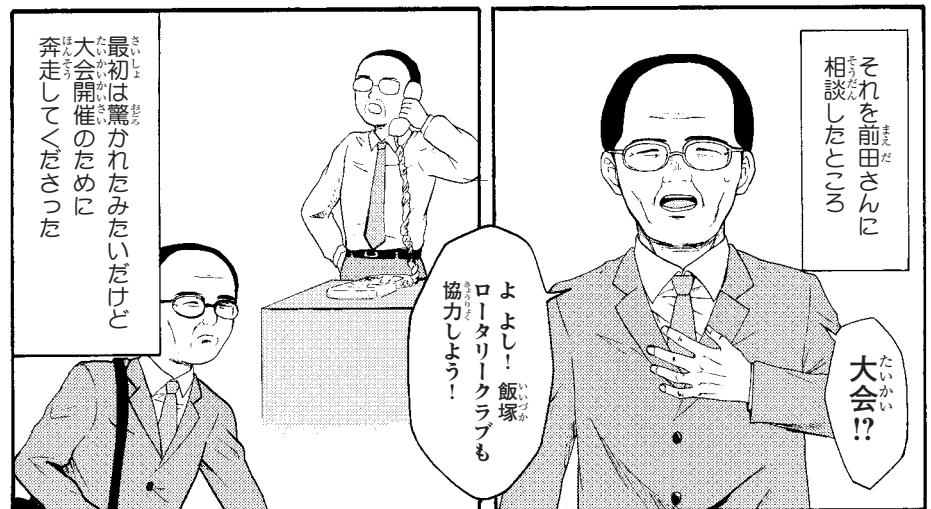
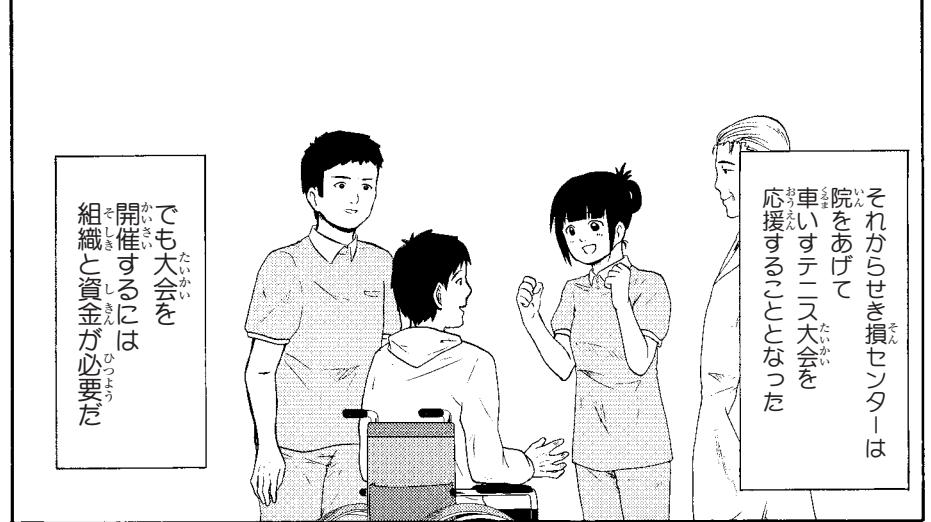
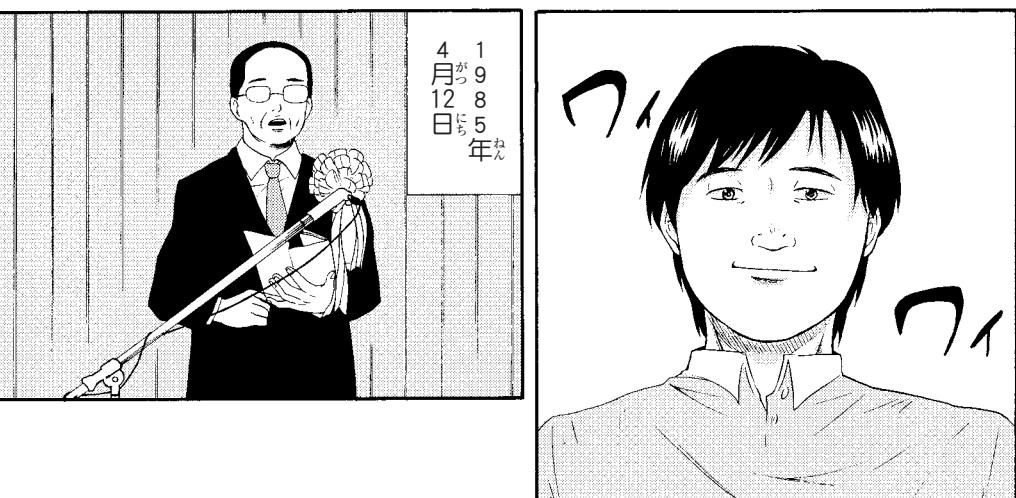


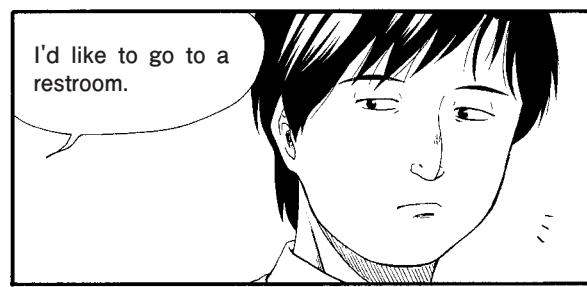
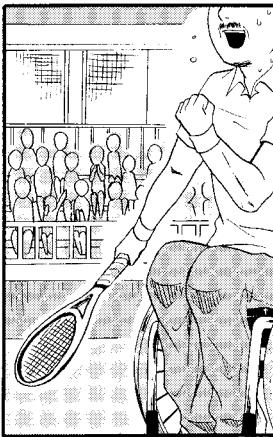
※国際障がい者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会(International Meeting on Leisure, Recreation and Sports for the Disabled)の略称。





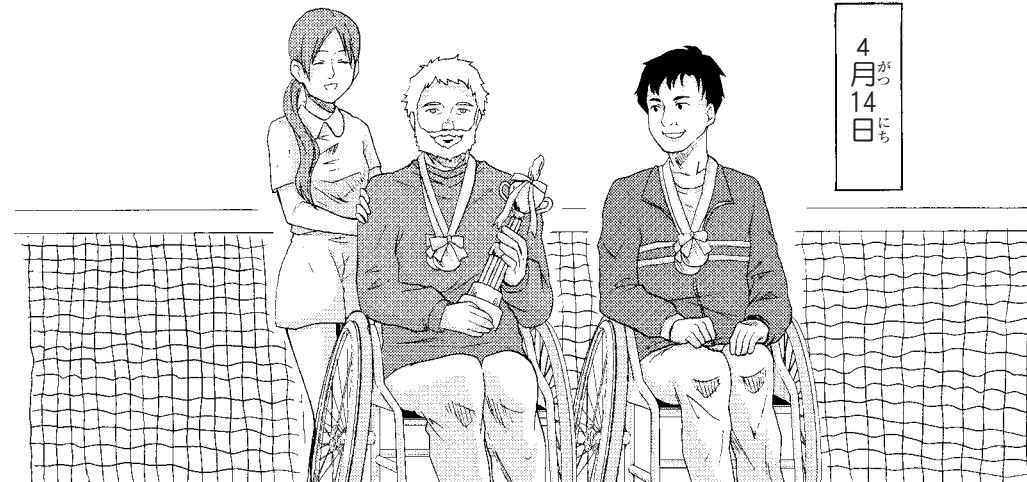
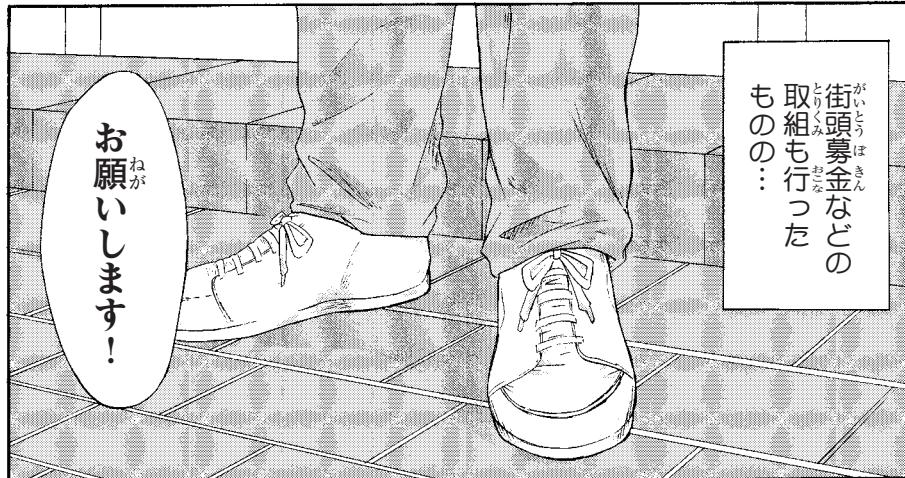
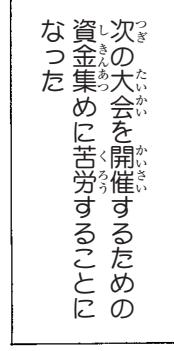


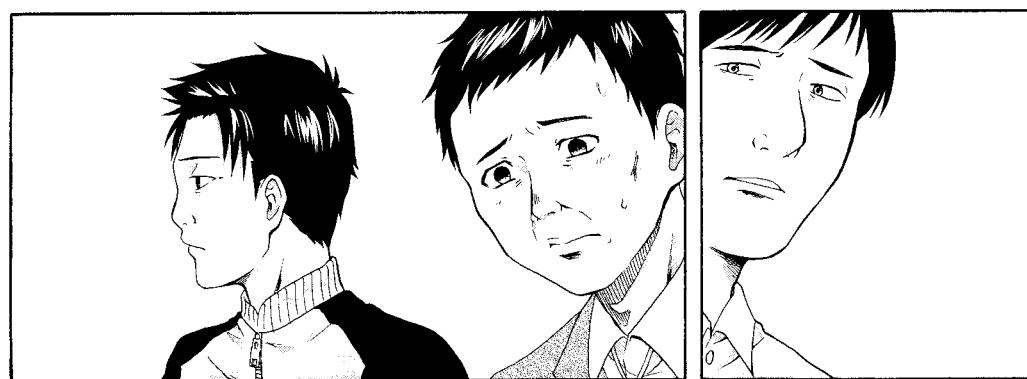
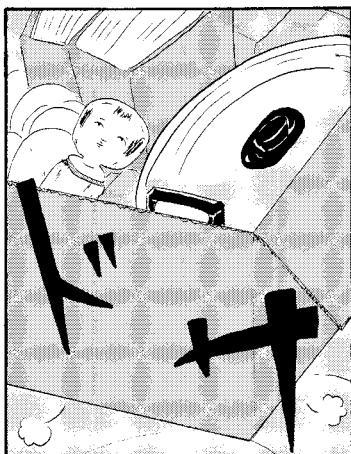
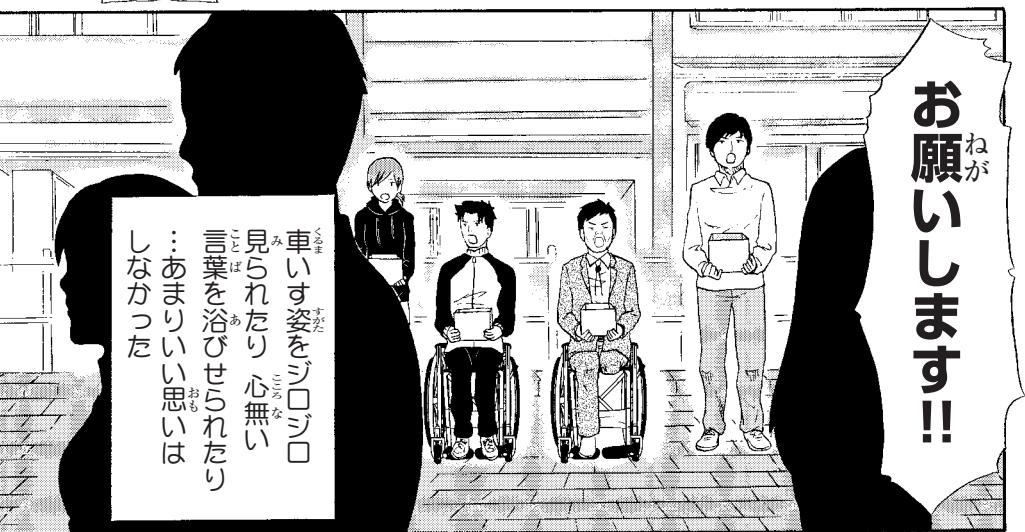


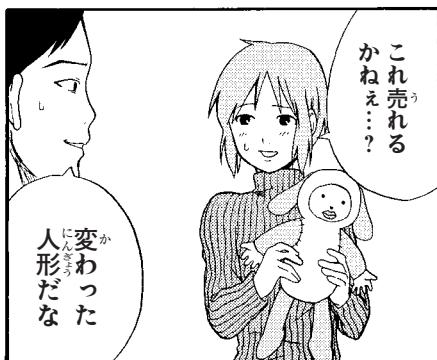
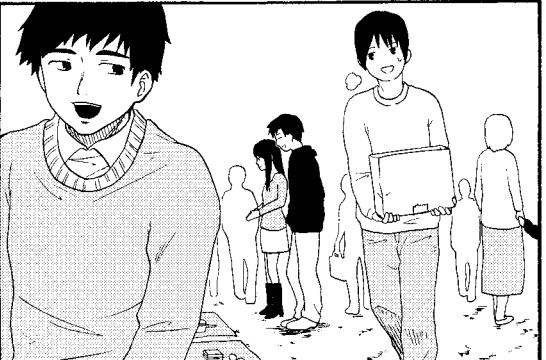
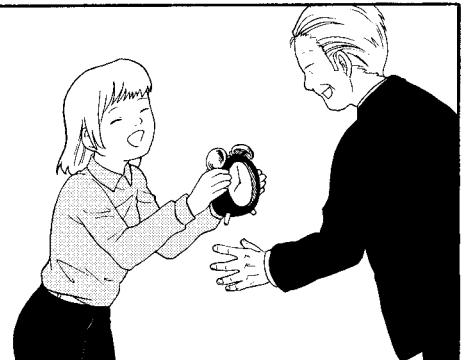
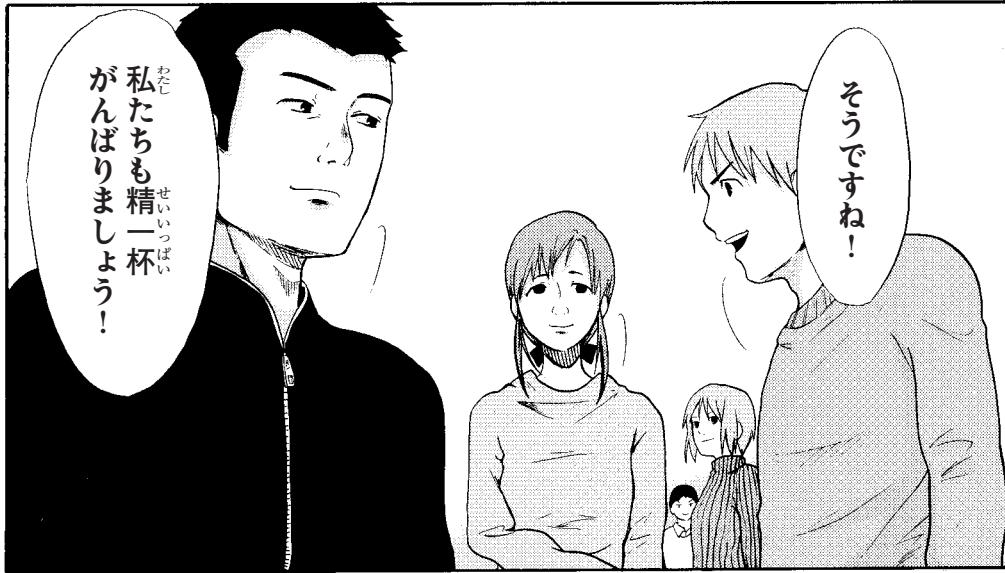
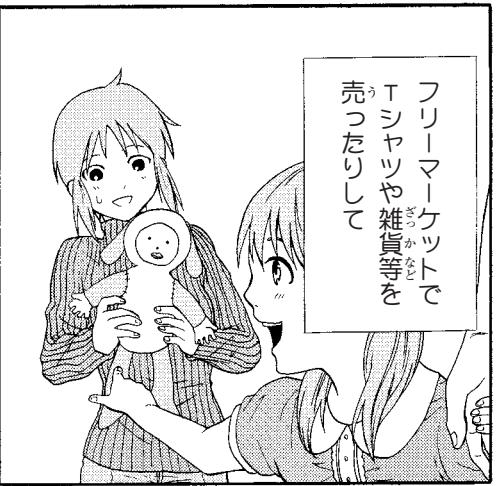
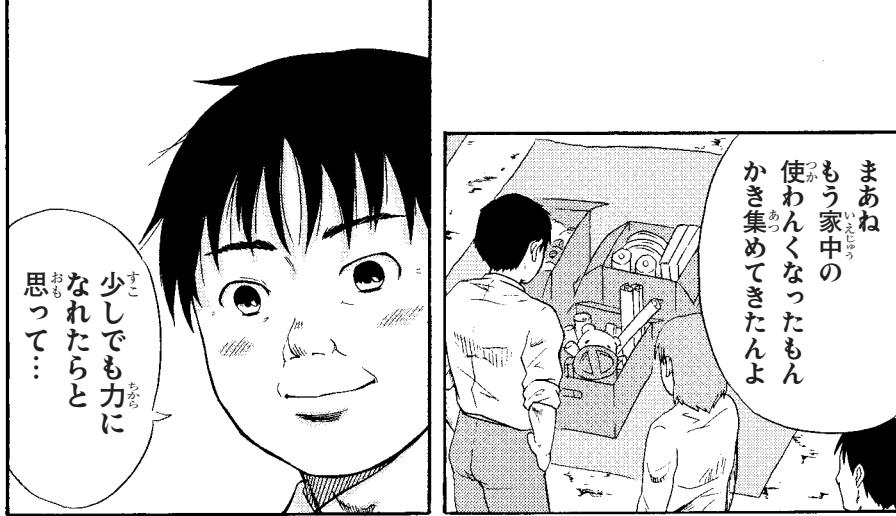


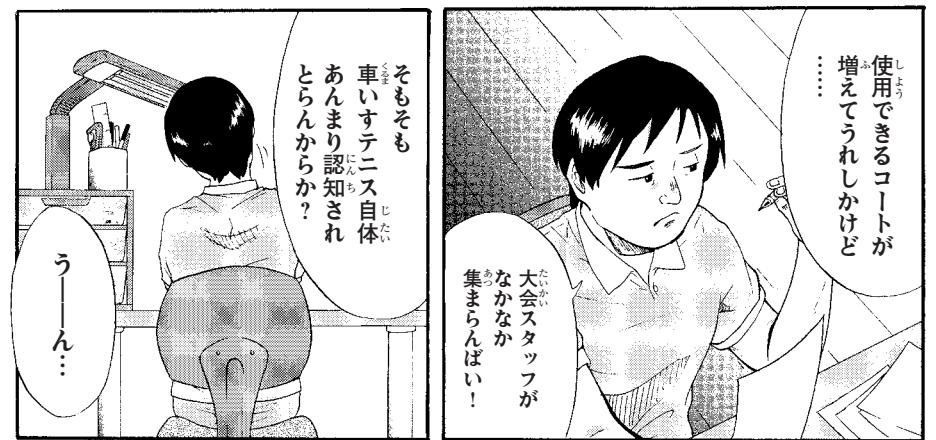
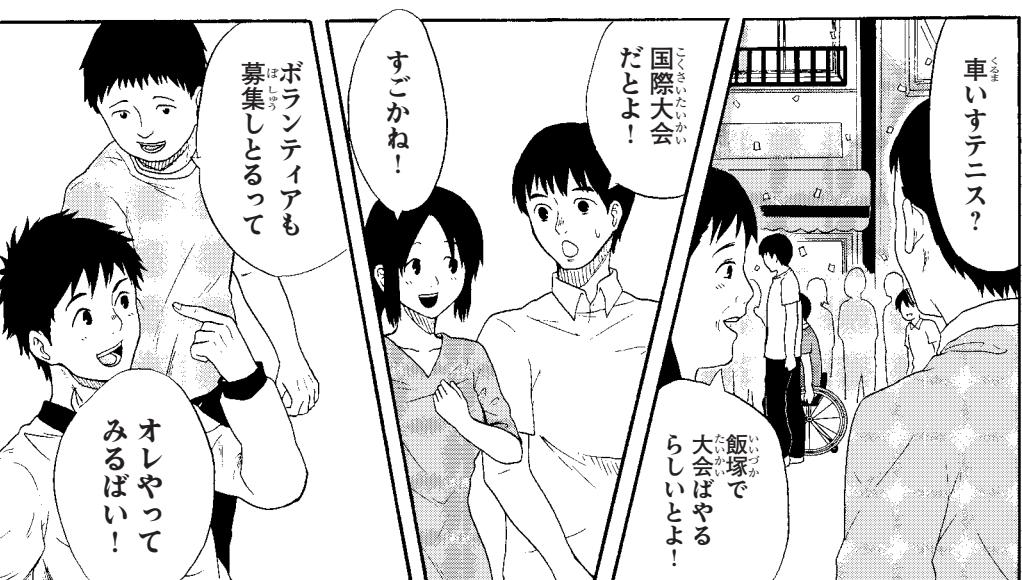
# '85 飯塚国際車いすテニス大会

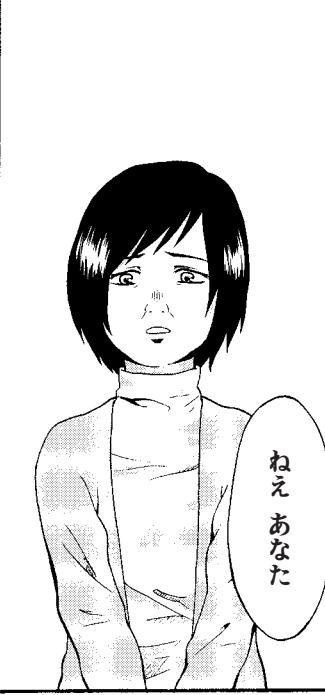




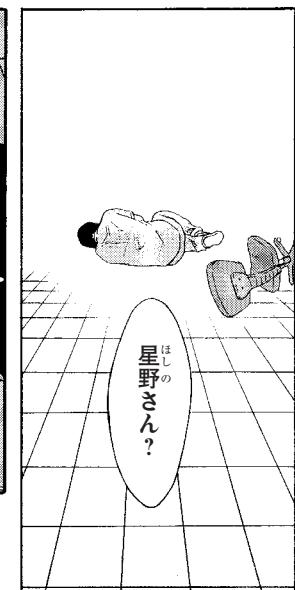


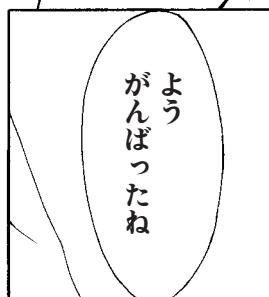
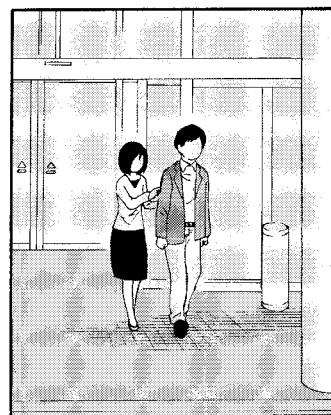
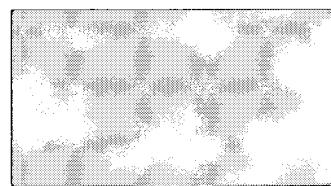
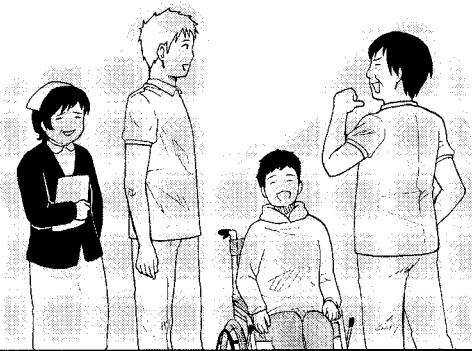
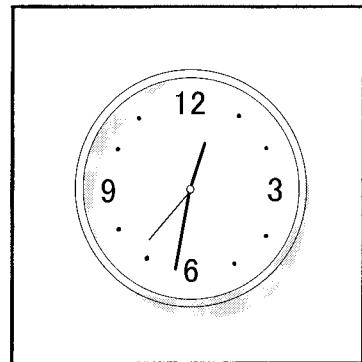


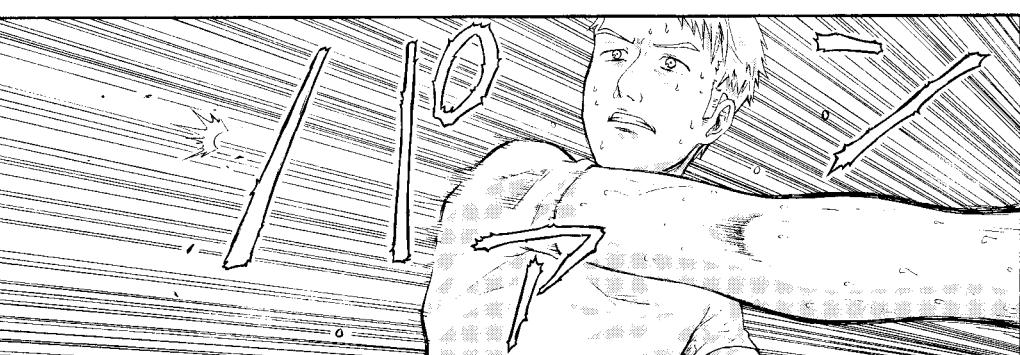


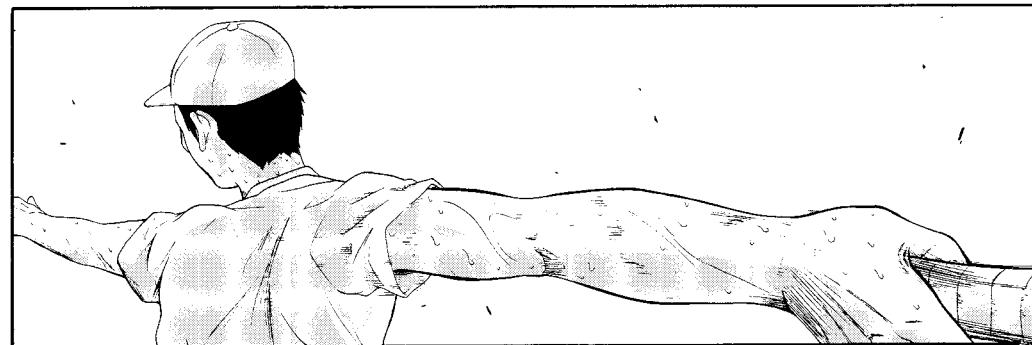
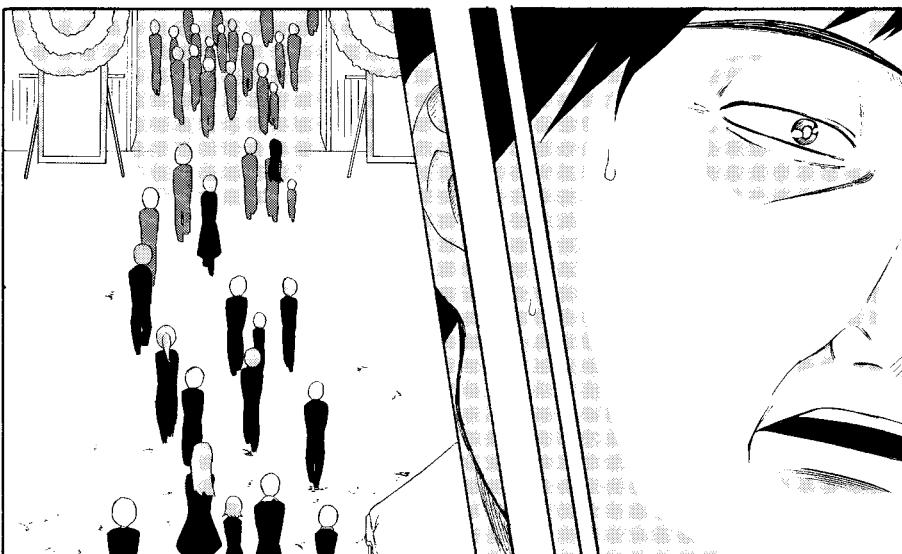
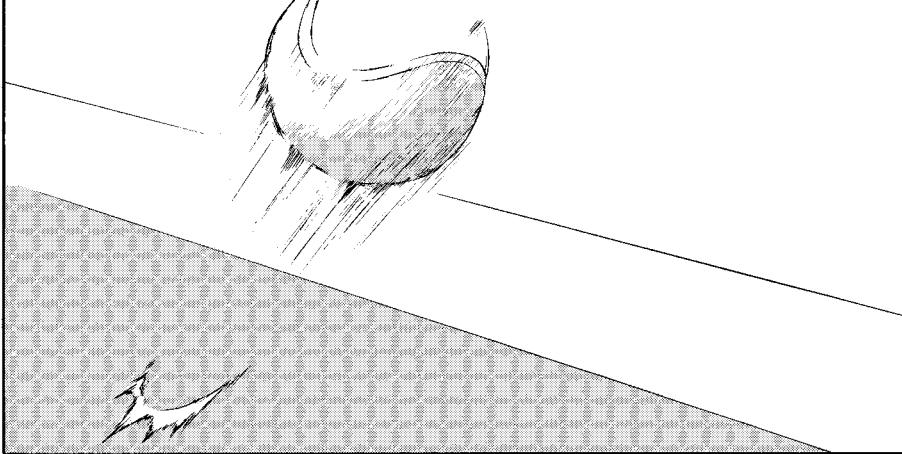


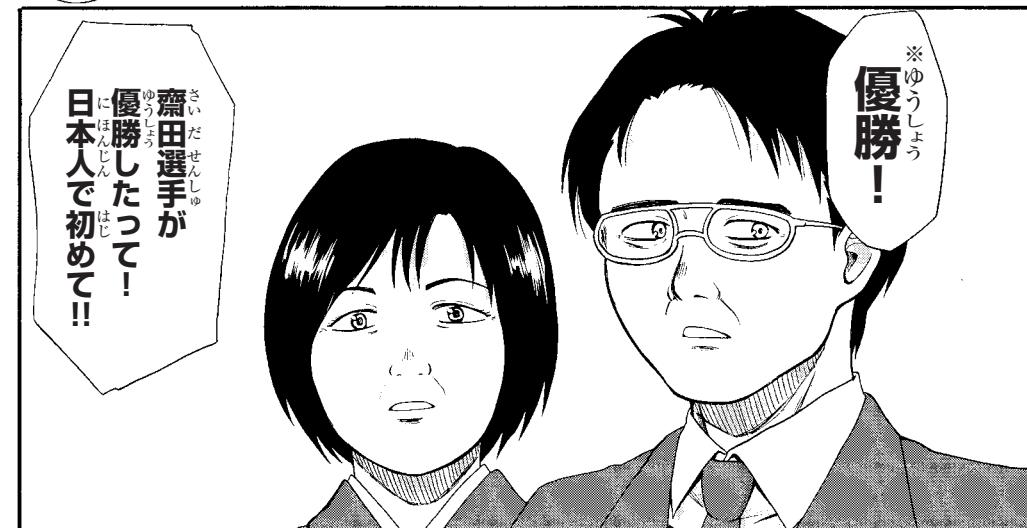
18回目か…しかし  
これまでの優勝者に







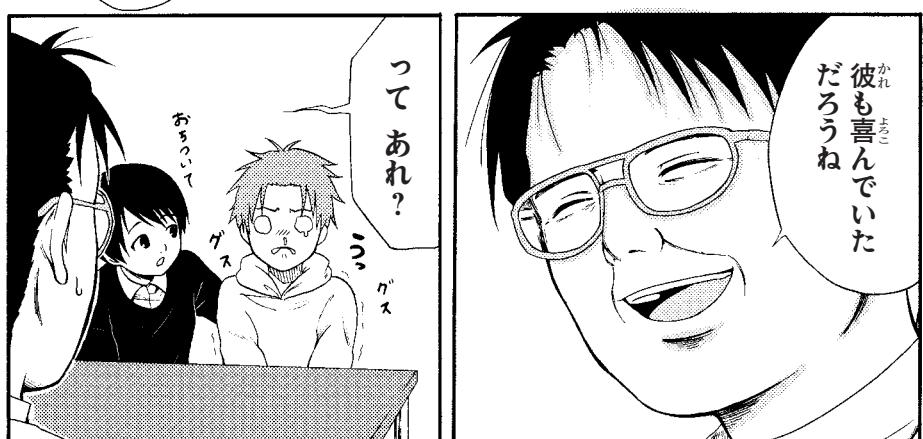




\*2000年5月19日、男子シングルの部で、齋田悟司選手が日本人として初めて優勝した。



※国際テニス連盟(International Tennis Federation)の略称。



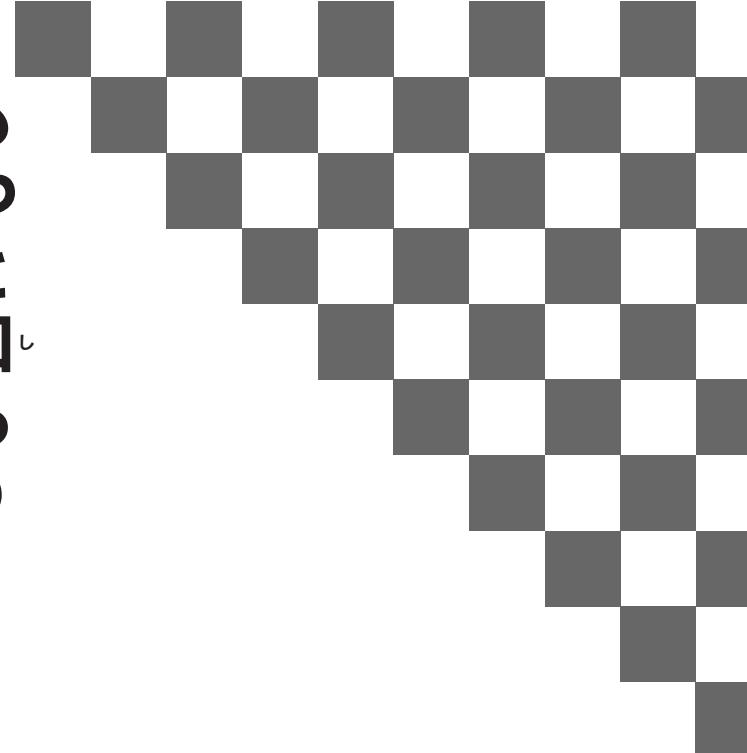
# 飯塚国際車いすテニス大会

## もっと知ろう



※本編の写真など画像・データ素材はすべて飯塚市より提供いただいております。

※掲載内容は、平成29年3月時点での情報を元に作成しています。

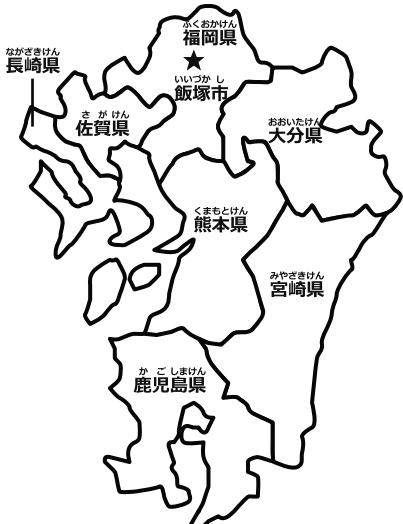


# 1 飯塚市の概要

飯塚市は、福岡市、北九州市、久留米市に次ぐ県内四番目の人口を擁する市です。面積約二一四km<sup>2</sup>、人口約一三万人（平成二九年（二〇一七年）一月）、福岡県のほぼ中央に位置しています。盆地を形成しているため、夏冬、昼夜の気温差がかなりあり、内陸性気候の特徴を有しています。

江戸時代は長崎街道の宿場町として、明治から昭和三〇年代のエネルギー革命によつて石炭産業は衰退し、炭鉱は閉山され、人口流出が進みました。昭和四年（一九六六年）に近畿大学が、昭和六年（一九八六年）に九州工業大学は情報工学部を設置し、飯塚は学生の街の色彩を帶びるようになります。（近畿大学は産理工学部を、九州工業大学は情報工学部を設置）。平成一八年（二〇〇六年）三月二六日に飯塚市、穂波町、穂町、庄内町、穎田町の一市四町が合併し、飯塚市は福岡県中央地域の中心都市として、「人が輝きまちが新飯塚市」となりました。新たに誕生した飯塚市は

飛躍する住まいまち 住み続けたいまち を目指して、産業・学術・文化・人権・自然が共生するまちづくりに取り組んでいます。



飯塚市の位置

## 2 飯塚国際車いすテニス大会の歩み

飯塚で国際車いすテニス大会が開催されるようになつたきっかけは、労働福祉事業団（現・独立行政法人脊髄損傷者支援機構）総合せき損センターにおいて、脊髄損傷者のリハビリとして車いすテニスが導入されたことに始まります。

一タリーカラブの全面的な協力と、地元のタクシーアーク会、ホテル、商店街、消防団、警察署、陸上自衛隊、高校など幅広い方々の支援のお陰でした。一足飛びに国際大会を開催することになつたのは、飯塚で練習していた選手がハワイの大会に出場し、ハワイで車いすテニスをされていた日本人と知り合つたことがきっかけでした。アメリカをはじめ各国の車いすテニスプレイヤーに人脉をもつその方から、今が車いすテニスの成長期であることなど、世界の車いすテニス事情を聞き、飯塚でも即国際大会を行うことができると確信したのです。

第一回大会が盛会裡に終了し、その余韻が冷めやらぬうちに、選手たちから「大会を継続して開催してほしい」との要望が大会役員に寄せられました。第一回大会の共同主催者であつた飯塚ロータリークラブからは「一回」という約束で全面的な協力を得ており、第二回大会を開催するには、ロータリーに替わるスポンサーが現れるか（見つけられるか）どうかが最大の問題でした。幸いにして第一回大会の実績を認めてくれたいくつかの企業がスポンサーとなつてくれるこなり、第二回大会開催の目処が立ちました。それ以降

飯塚市に「総合せき損センター」が開設されたのは、昭和五四年（一九七九年）のことです。かつて炭鉱業で栄えた飯塚には炭鉱災害等で脊髄を損傷した患者が多くいました。総合せき損センターは、脊髄損傷の専門病院として救命救急の初期治療から患者の社会復帰まで一貫した医療を行っています。

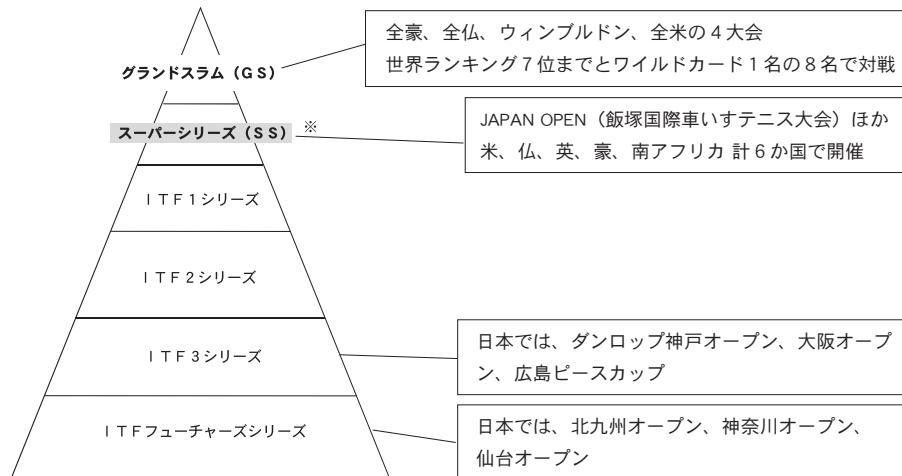
昭和五七年（一九八二年）に車いすテニスが日本で紹介されると、いち早くそれを採り入れ、患者のリハビリに導入しようとしたのが、総合せき損センターのソーシャルワーカーでした。翌五八年（一九八三年）には総合せき損センターの体育館において本格的に車いすテニスの練習が始まります。福岡県だけではなく、隣県の山口、佐賀、熊本などからもはるばる練習に来られた人も出てきました。

昭和五九年（一九八四年）に九州車いすテニスクラブが発足し、翌六年（一九八五年）に九州車いすテニスクラブと地元・飯塚ロータリークラブの主催により、第一回の飯塚国際車いすテニス大会が開催されました。第一回大会には海外から一四名の選手が参加、大会名誉会長として故三笠宮寛仁親王殿下にご臨席いただき、盛会のうちに大会を終えました。飯塚ロ

一九八九年に国際車いすテニス連盟（IWTF）が発足し、同じ年に国際車いすテニス連盟（IWTF）の下部組織として認定されました。これにより車いすテニスの世界にも世界ランク制度が設けられました。（IWTFは一九九八年にIWTF本体に組み込まれ、ITFの車いすテニス部門となります。）

一九九〇年の第六回大会で飯塚国際車いすテニス大会は世界ランキング認定大会に指定されました。二〇〇四年の第二〇回大会で飯塚国際車いすテニス大会はスーパーシリーズに格上げされ、世界四大大会の一いつとなりました。二〇〇九年にはグランドスラムが新しいたなグレードとして設けられたため、現在では六大会の一つ、アジアでは最高峰の国際車いすテニス大会などつています。

## 飯塚国際車いすテニス大会のグレード



\* 2008 年まで車いすテニスにおける最もグレードの高い大会はスーパーシリーズで、全豪、JAPAN OPEN、全英、全米が 4 大大会であった。2009 年にグランドスラムが新たなグレードとして設けられた。全豪と全米がグランドスラムに格上げされるとともに、新たに全仏とウィンブルドンが加わり、4 大大会と位置付けられることとなった。

くるま たいかい  
車いすテニス大会のグレード：ピラミッド

年	沿革
1976 年	・アメリカ カリフォルニアで車いすテニスが始まる。
1982 年	・車いすテニスが神奈川県厚木市、大阪府大阪市、福岡県飯塚市で紹介される。 ・国際障害者レジャー・レクリエーション・スポーツ大会 (RESPO) (於:愛知県蒲郡市) で外国選手と対抗試合。
1983 年	・脊髄専門病院・総合せき損センター（飯塚市）の体育館において車いすテニスの練習が始まる。
1984 年	・九州車いすテニスクラブ設立（会長：角田信昭）。
1985 年	・4月 12 日～14日 飯塚国際車いすテニス大会開催（主催：九州車いすテニスクラブ、飯塚ロータリークラブ）。（参加者 78 名 [うち国内 64、海外 14]） ・日本で初めての車いすテニス・クリニックを開催。
1986 年	・九州車いすテニス協会を設立（会長：麻生 泰）。（日本初の車いすテニス協会） ・5月 23 日～25日 第2回飯塚国際車いすテニス大会開催。（主催：九州車いすテニス協会。以後、同協会が主催となる）。（参加者 114 名 [うち国内 100、海外 14]）
1990 年	・5月 23 日～27日 第6回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 157 名 [うち国内 133、海外 24]） ・世界ランキング認定大会に指定される。 ・全国身体障害者スポーツ大会（福岡国体）で車いすテニスが公開競技種目となる。
1992 年	・筑豊ハイツに車いすトイレと車いすで使えるシャワー室が完成。
1994 年	・5月 25 日～29日 第10回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 207 名 [うち国内 154、海外 53]） ・10回記念事業として、フォーラム、コンサート、テニス・クリニック、テニス・キャンプ（※）を開催。 ※テニス・キャンプはアジアの車いすテニスの技術向上と車いすテニス指導者の育成を目的に開催された。
2002 年	・5月 15 日～19日 第18回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 201 名 [うち国内 150、海外 51]） ・日本人初の快挙、斎田悟司選手が優勝。 ・ジョン・グリア選手（米）とクリスティン選手（英）、筑豊ハイツにて拳式。 ・飯塚国際車いすテニス大会創設者の一人、星野治氏（51歳）逝去。
2003 年	・2月 西日本スポーツ賞（体育功労賞）を受賞。
2004 年	・1月 特定非営利活動法人の承認を受け、NPO 法人九州車いすテニス協会として新たにスタート（理事長：麻生 泰）。 ・5月 11 日～16日 第20回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 175 名 [うち国内 121、海外 54]） ・スーパーシリーズに昇格。 ・9月 アテネパラリンピックで斎田悟司・国枝慎吾両選手がダブルスで金メダル。 ・11月 角田信昭氏（前大会実行委員長）ソロブチミスト日本財団より社会ボランティア賞を受賞。
2006 年	・飯塚国際車いすテニス大会サポートーズクラブ導入・5月 16 日～21日。 ・第22回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 154 名 [うち国内 117、海外 37]） ・4年ぶりに日本人、国枝慎吾選手が優勝。
2008 年	・9月 北京パラリンピックで国枝慎吾選手がシングルスで金メダル。
2009 年	・5月 8 日～25周年記念シンポジウム開催。 ・5月 19 日～24日 第25回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 116 名 [うち国内 91、海外 25]） ・決勝戦をインターネットで生中継。
2013 年	・5月 29 日～6月 2 日 第29回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 91 名 [うち国内 60、海外 31]） ・女子シングルスで、上池結衣選手が優勝。
2014 年	・5月 13 日～18日 第30回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 91 名 [うち国内 57、海外 34]） ・30周年記念シンポジウム開催。 ・男子シングルスで国枝慎吾選手、女子シングルスで上池結衣選手が優勝。
2016 年	・3月 九州車いすテニス協会 福岡県知事賞を受賞（車いすテニスの普及・振興等）。 ・5月 17 日～22日 第32回飯塚国際車いすテニス大会開催。（参加者 106 名 [うち国内 23、海外 83]） ・10月 九州車いすテニス協会 文部科学大臣賞を受賞（スポーツの普及・振興）。

# いいづかこくさいくるま たいかい あゆ ねんびょう 飯塚国際車いすテニス大会の歩み・年表

## 4

### 飯塚国際車いすテニス大会のボランティア

飯塚国際車いすテニス大会は、毎回二〇〇〇名を超すボランティアが大会の運営支援に当たり、地域を上げてのホスピタリティはITFにも高く評価されてい



2016 JAPAN OPEN 優勝選手とボランティアの方々



2016 JAPAN OPEN 競技運営スタッフの朝のミーティングのようす

ます。ボランティアの方々はボールパーソン、会場整備、輸送、メディカル、食事、通訳、駐車場誘導など様々な仕事を引き受けており、この運営方式は「イイヅカ方式」と呼ばれるようになりました。また、陸上自衛隊飯塚駐屯地の隊員が、毎年、会場設営や選手の送迎などの支援を行っています。



2016 JAPAN OPEN 選手の送迎を補助する陸上自衛隊員

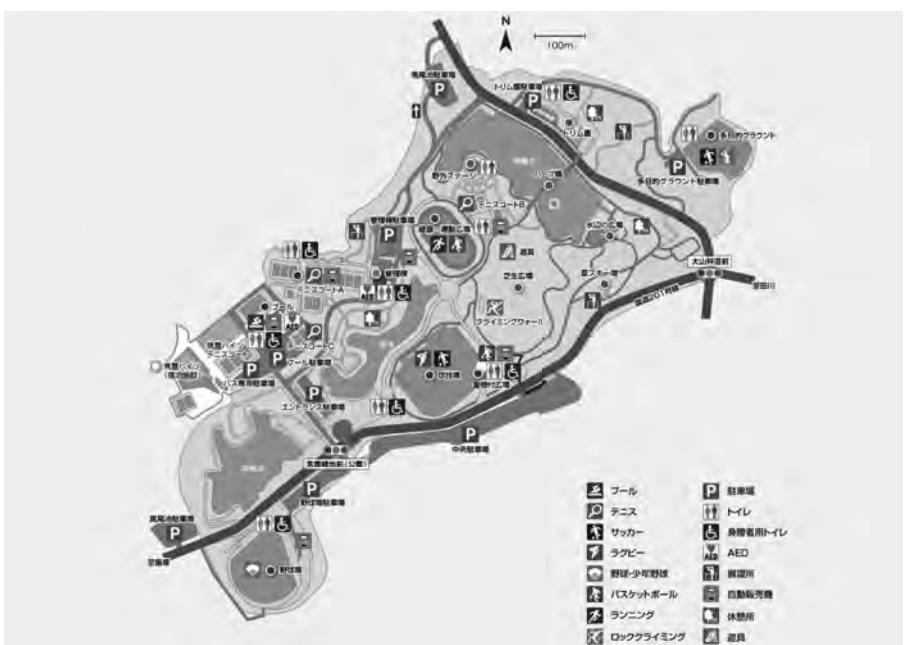
## 5

### スポーツ合宿の好適地・飯塚市

飯塚市には、筑豊ハイツ（温泉付き宿泊施設）や筑豊緑地公園（ウエルネスパーク）などが集積し、スポーツ合宿等に適した環境となっています。特にテニスコートは全部で二二面あり、テニス合宿には最適の地です。国際テニス連盟（ITF）公認の国際女子テニス大会（ニコニコ飯塚JCカップ）や飯塚国際車いすテニス大会もここの中庭テニスコートを用いて行われています。

テニス以外にも、野球場、プール、球技場（サッカー、ラグビー）、多目的グラウンド、芝生広場、クラシミングウォールなど様々な施設が整っています。また、筑豊ハイツの温泉は天然のラジウム泉で大浴場、ジャグジー、サウナ、水風呂等設備も充実。六四名まで宿泊可能です。

福岡空港から施設までは車で約六〇分、博多駅から最寄りの新飯塚駅までは快速で約四〇分と、交通の便も良好です。



筑豊ハイツ・筑豊緑地公園施設マップ

まんが スポーツで地域活性化 シリーズ情報

## 1 ラグビー合宿の聖地へ 北のスポーツ基地網走

ソウル五輪の事前合宿をきっかけに、ラグビーを中心にスポーツ合宿で地域活性化することを決めた網走市。合宿の受け入れ要請やグラウンド整備に職員は奔走する。今では合宿の聖地となり、グラウンドは「日本一の芝」と言われるまでになったその理由とは…

## 2 日本初のバレーボール専用体育館・オガールベース スポーツを通じて次世代のリーダーを育てる

公民連携で駅前の遊休地が生まれ変わった。マルシェ、図書館、医院、学習塾、スポーツ施設などが集積。人口3万人の町に今、年間90万人が訪れる。「パレーボール専用体育館」を建てた狙いと、そこに込められた想いとは…

### 3 バスケで秋田を元気に ゼロからの挑戦

大学進学で秋田に来た水野は県民のネガティブ思考に愕然(がくぜん)とする。そんな秋田を“スポーツで元気に”とプロバスケットチームの設立に向けて水野は走り始める。否定的な意見もある中、「動けば変わる！」と仲間と活動を続ける水野。果たして秋田の未来は…

#### 4 世界が注目するアウトドア天国・みなかみ

バブル崩壊で温泉客・スキーパーが減少。観光の町・みなかみの経済は活気を失う。そんな中、利根川源流の自然環境の価値に一人のNZ人が気が付く。「ここは世界に通じるアウトドア天国になる!」。彼の狙いどおり外国人客は来るのか…

## ⑤市民が主役の交流拠点・アオーレ長岡 アリーナを含む公民一体型スペース

長岡市の活性化のため誕生した新交流拠点「アオーレ長岡」。スポーツやコンサート、市民発のイベントが多数行われ、運営を担当ながおか未来創造ネットワークは「市民のやりたいこと」の実現のため奔走していた。そんな中、アリーナが新潟アルビレックスBBの本拠地に決まり…

## 6 サッカーで地域を盛り上げる 松本山雅FCの歩み

平均13000人を超えるJ2では驚異的な入場者数を誇る松本山雅FC。老いも若きもスタジアムに集い、スタンドが緑に染まる。“サッカー不手の地”長野県の一地方都市で、なぜこのような奇跡が起こったのか。そこには男たちの熱いドラマがあった。

## 7 マリンスポーツでまちあこし 自然を活かしたスポーツ集客

新たな観光誘客のため、熊野マリンスポーツ推進委員会が穏やかな新鹿湾や熊野灘の絶景を活かし、SUP やシーカヤックを楽しめるまちづくりに挑戦! 熱意と地域愛を武器に、各所への協力要請、王候との闇を経て、ついにピーチ・マリンスポーツフェティバルが開催となるが…

## 8 「自立と連携」スポーツを核に地域に雇用を生む 出雲スポーツ振興会

スポーツを振興し、地域スポーツを支える組織をめざして2000年より活動開始。でもスポーツだけではない、大事なのは「地域づくり」! 「白立と連携」をキーワードに、地域を元気にする事業を幅広く展開。スポーツを核に20人もの正職員を雇用するNPOに

## ⑨ 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会 瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ

「しまなみ海道で国際サイクリング大会をやる!」「高速道路を通行止めにして…」前例のないイベント開催を命じられた県庁職員の奮闘が始まる。国内外から多くの観光客、サイクリストが訪れる瀬戸内、サイクリングによる経済を担う

10 Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会 アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり

車いす使用者がスポーツを行うことに、まだまだ理解が得られなかつた 1980 年代。そんな風潮に敢然と立ち向かった男たちがいた。彼らが社会復帰のリハビリのために授け入れを重いオニコフは、やがて東いオニコフ世界六十年の一つ、Japan Open 上で躍進していく

## 11 スポーツコミュニケーションで会宿議致

「スポーツコミッショナを立ち上げる！」。知事から新たな指令が下った。フィルムコミッショナからの異動を命じられた県庁職員。知事の意に従ふに過ぎず、公私を離れて、一筋もあこがれのない仕事に就くこととなる。

12 大分国際車いすマラソン大会 世界最高峰の車いすマラソン大会

「別大マラソンに参加したい」。車いす使用者の訴えは聞き入れられなかった。ならば、「世界初の車いす単独マラソン大会」の実現を目指して、多くの面で支えられた。仲の熱い想いが、はじめて世界最高峰の車いすマラソン大会へとつながる道である。



# 角田先生からのメッセージ

アメリカの選手が来日した際には、我々も同じレベルの高さに大変驚いたが、日本の選手も練習を積み重ねれば世界No.1になれるのではないかと希望を持った。されば世界大会に参加し、いつかは優勝したい」という希望が選手たちの車いすテニスへの最大のモチベーションとなり、一層練習に励むようになった。我々の強い願いが地域の方々に通じ、飯塚で国際車椅子情熱が世界のトッププレイヤーたちにも知れ渡り、一九八五年四月、第一回飯塚国際車いすテニス大会には世界No.1プレイヤーたちも駆けつけ参戦した。あれから三十多年余りの歳月が流れた。選手や地元の皆様の変わることのない情熱と支援のお陰で、飯塚国際車いすテニス大会（JAPAN OPEN）は、今や世界の車いすテニス界をリードする大会となつた。星野氏、前田氏とともに日本でいち早く車いすテニスを取り入れ、普及活動に貢献できたことを大変誇りに思う。これまで支えてきてくださつた全ての皆様に感謝申し上げるとともに、今後更に本大会が発展していくことを祈念しつつ、大会に関わる全ての人々の情熱を見守っていきたい。

# ほんさつし せいさくきょうりょく 本冊子の制作協力にあたって

日本生命は、「スポーツの力で地域を元気にしたい！」という  
スポーツ庁の想いに共感し、この『スポーツによる地域活性化ま  
んが事例集』の制作に協力しました。

毎日の部活を頑張るあなたも、同級生の活躍を願うあなたも、  
地元のクラブチームを支えるサポーターやスタッフも、みんな  
知っているはず。

スポーツをする人、応援する人、支える人の想いがつながって、  
みんなが心を躍らせる瞬間が湧き起ることを。

このまんがを読まれた方々が、スポーツの力をかりて地域を支  
えようと頑張る人たちの想いに共感し、あなたの、そして地域の  
未来を切り拓いていくきっかけとなれば幸いです。

日本生命は、生命保険会社で唯一の「東京 2020 オリンピッ  
ク・パラリンピックゴールドパートナー（生命保険）」として、  
『Play, Support. ～さあ、支えることを始めよう。～』をスロー  
ーガンにスポーツを頑張るすべての人と、それを支えるすべての人  
を応援しています。



生 28-H-3897, 業務部

## ●作画

小林円美

## ●作画指導

岩本聖司、羽月由憲

麻生情報ビジネス専門学校クリエイティブ・デザイン系

〒 812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-12-32

TEL.092-517-8881

<http://www.asojuku.ac.jp>

## ●取材協力

實藤和也、吉原 寿、奥 雄介（飯塚市役所 健幸・スポーツ課）

角田信昭（角田整形外科医院 院長）

星野知子（故星野治氏夫人）

前田恵理、森 國次、柳瀬葉子（NPO 法人 九州車いすテニス協会）

〒 820-0011 福岡県飯塚市柏の森 6-1

TEL 0948-25-7144 FAX 0948-25-7520

<http://kwta.japanopen-tennis.com/> <http://japanopen-tennis.com/>

## ●制作協力

スズキ株式会社 日本生命保険相互会社



## ●編集協力

大日本印刷株式会社 株式会社ダーコシ

## ●表紙デザイン

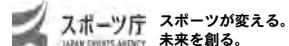
hive

まんが スポーツで地域活性化 vol.10

Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会 アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり

（福岡県飯塚市）

## 企画・監修



スポーツが変える。  
未来を創る。

参事官（地域振興担当）付

〒 100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

TEL. 03-5253-4111（代表）

<http://www.mext.go.jp/sports/>

寄 贈 元 スズキ株式会社 日本生命保険相互会社

印 刷 大日本印刷株式会社

車いす使用者がスポーツを行うことに  
まだまだ理解が得られなかつた1980年代。  
そんな風潮に敢然と立ち向かつた男たちがいた。  
彼らが社会復帰のリハビリのために採り入れた車いすテニスは  
やがて車いすテニス世界6大会の1つ、  
Japan Openへと発展していく。